

2023年度決算

2024年度予算

学校法人日通学園
流通経済大学
流通経済大学附属柏高等学校
流通経済大学附属柏中学校

2023年度決算並びに2024年度予算について

本学園の2023年度決算は本年5月27日、2024年度予算は本年3月25日開催の理事会においてそれぞれ承認され、また同日の評議員会において同意を得ましたのでその概要について公表いたします。

私立学校振興助成法による補助金の交付を受ける学校法人は、学校法人会計基準(文部科学省令)に則って「事業活動収支計算書」、「資金収支計算書」及び「貸借対照表」を作成し、計算書類は公認会計士または監査法人による監査を受けて所轄庁に届け出るよう定められ、本学園も文部科学省に届け出ています。

学校法人会計は、企業会計が経済活動により利益を追求するため、収益と費用から損益計算し、資産、負債の財務状態をまとめ、利害関係者や社会に公表することを目的としているのに対し、学校法人は教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入のほとんどが学生生徒等の納付金や、国や地方公共団体の補助金で構成される極めて公共性の高い法人であり、一般企業より一層の持続性や、長期にわたる収支の均衡が求められるため、学校法人会計に損益計算という概念はなく、収支の均衡状態と財政状況の健全性を明らかにすることで、学校法人の持続的発展に役立てることを目的としています。

ここでは、本学園の経営状況を示す「事業活動収支計算書」と、すべての資金取引を明らかにする「資金収支計算書」及び財政状況を示す「貸借対照表」について概要をご説明いたします。

1. 2023年度決算について

(1) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、経常的収支と臨時的収支に区分して、当該年度の収入、支出の内容及び均衡の状態を明らかにし、経営状況が健全であるかどうか判断するためのものです。

本学園の2023年度の収支は、事業活動収入8,788,155千円から事業活動支出8,873,452千円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額が△85,297千円となり、さらに基本金組入額270,552千円を差し引いた当年度収支差額は355,849千円の支出超過となりました。これは、今年度より中学校を開設したため人件費が増加したことや、光熱費の値上がり、委託費の増加により経費が増加したこと、また基本金組入額(自己資金で取得した校地、校舎、教具、校具等の取得相当額や奨学基金、研究基金等の資産の額、恒常的に保持すべき資金相当額)が、大学のLED照明更新工事やトイレ改修工事、サッカー場人工芝改修工事、ロゴマーク改修、高校中学校の第一第二体育館の空調機器設置工事やLED照明工事を行ったため増加したことによるものです。

なお、2023年度実施した基本金組入れ対象事業の主なものは下記のとおりです。

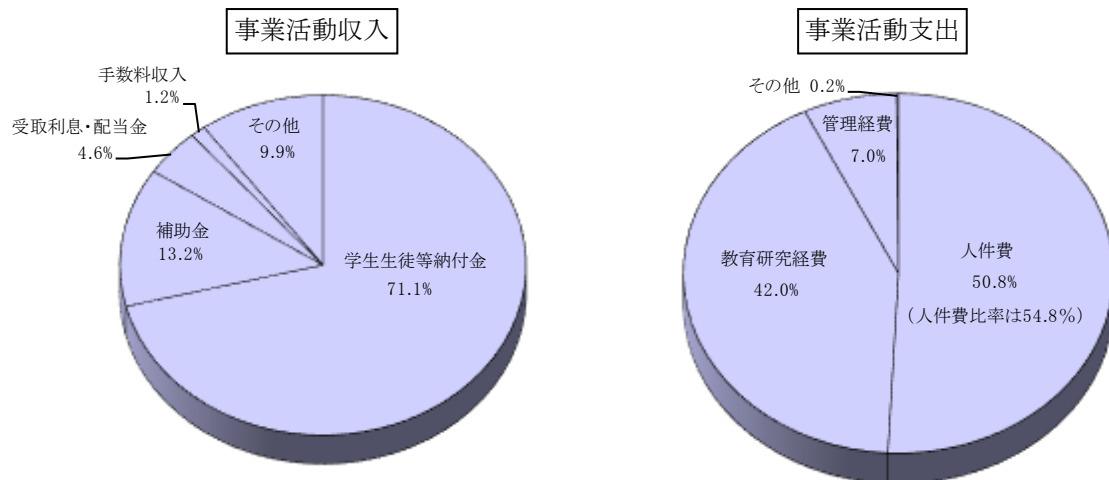
大 学	高 校	中 学 校
<ul style="list-style-type: none">・ LED 更新・ 龍ヶ崎トイレ改修・ サッカー場人工芝改修・ 外壁ロゴマーク改修・ エレベーター更新・ 図書の購入など	<ul style="list-style-type: none">・ グラウンド照明 LED 更新・ 第一、第二体育館空調設置・ 図書の購入など	<ul style="list-style-type: none">・ 第一、第二体育館空調設置・ 図書の購入など

2023年度事業活動収支計算書

(金額単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入	事業活動の活動部	学生生徒等納付金	6,233,169	6,246,809	△ 13,640
		手数料	143,994	104,948	39,046
		寄附金	26,020	36,512	△ 10,492
		経常費等補助金	1,155,555	1,160,397	△ 4,842
		随事業務収入	108,966	113,349	△ 4,383
		雑収入	97,286	160,952	△ 63,666
		教育活動収入計	7,764,990	7,822,967	△ 57,977
	事業活動の支出部	人件費	4,208,126	4,506,513	△ 298,387
		教育研究経費	3,705,035	3,730,330	△ 25,295
		管理経費	577,304	624,030	△ 46,726
徴収不能額等		0	0	0	
教育活動支出計		8,490,465	8,860,873	△ 370,408	
	教育活動収支差額	△ 725,475	△ 1,037,906	312,431	
教育活動外収入	事業活動の収入部	受取利息・配当金	327,695	400,272	△ 72,577
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	327,695	400,272	△ 72,577
	事業活動の支出部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	327,695	400,272	△ 72,577	
		経常収支差額	△ 397,780	△ 637,634	239,854
特別収入	事業活動の収入部	資産売却差額	0	467,790	△ 467,790
		その他の特別収入	99,100	97,126	1,974
		〔現物寄付〕	12,800	10,351	2,449
		〔施設設備補助金〕	86,300	86,775	△ 475
		特別収入計	99,100	564,916	△ 465,816
	事業活動の支出部	資産処分差額	154	12,579	△ 12,425
その他の特別支出		0	0	0	
特別支出計		154	12,579	△ 12,425	
	特別収支差額	98,946	552,337	△ 453,391	
		基本金組入前当年度収支差額	△ 298,834	△ 85,297	△ 213,537
		基本金組入額合計	△ 620,042	△ 270,552	△ 349,490
		当年度収支差額	△ 918,876	△ 355,849	△ 563,027
		前年度繰越収支差額	△ 3,302,471	△ 3,302,471	0
		翌年度繰越収支差額	△ 4,221,347	△ 3,658,320	△ 563,027
(参考)					
		事業活動収入計	8,191,785	8,788,155	△ 596,370
		事業活動支出計	8,490,619	8,873,452	△ 382,833

構成比率 (2023決算)



(2)資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動(教育研究活動等)に対応する全ての収入及び支出の内容ならびに支払資金(現金及び預貯金)の収入及び支出のてん末を明らかにするためのものです。

2023年度の資金収支は、資金収入15,866,793千円(前年度繰越支払資金含む)に対し、資金支出は11,680,872千円となり、翌年度繰越支払資金は、4,185,921千円となりました。

2023年度資金収支計算書

(金額単位:千円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
資 金 収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	6,233,169	6,246,809	△ 13,640
	手 数 料 収 入	143,994	104,948	39,046
	寄 付 金 収 入	26,020	36,512	△ 10,492
	補 助 金 収 入	1,241,855	1,247,172	△ 5,317
	〔国庫補助金収入〕	754,977	768,057	△ 13,080
	〔地方公共団体補助金収入〕	486,878	479,115	7,763
	資 産 売 却 収 入	1,800,000	3,676,920	△ 1,876,920
	付随事業・収益事業収入	108,966	113,349	△ 4,383
	受取利息・配当金収入	327,695	400,272	△ 72,577
	雑 収 入	97,286	156,488	△ 59,202
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	2,227,163	1,812,499	414,664
	その他の収入	194,200	235,298	△ 41,098
	資金収入調整勘定 前年度繰越支払資金	△ 2,012,476 3,905,053	△ 2,068,527 3,905,053	56,051 0
合 計	14,292,925	15,866,793	△ 1,573,868	
資 金 支 出 の 部	人 件 費 支 出	4,198,773	4,459,714	△ 260,941
	教育研究経費支出	2,467,908	2,433,807	34,101
	管理経費支出	498,346	535,926	△ 37,580
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	382,349	419,259	△ 36,910
	設備関係支出	917,837	556,101	361,736
	資産運用支出	1,800,000	3,076,920	△ 1,276,920
	その他の支出	945,240	1,020,816	△ 75,576
	資金支出調整勘定	△ 834,506	△ 821,671	△ 12,835
	翌年度繰越支払資金	3,916,978	4,185,921	△ 268,943
合 計	14,292,925	15,866,793	△ 1,573,868	

(3) 貸借対照表

貸借対照表は、一定の時点における資産、負債、純資産の財産状況を示しております。

本学園の2024年3月31日における財産状況は別表に示すとおり健全であります。総資産が56,497,832千円に対し総負債が4,358,230千円で、純資産は52,139,601千円になります。負債率は7.7%で私学の平均は11.7%（『今日の私学財政』2023年度版日本私立学校振興・共済事業団より）でありますので、財産状況は良好であります。

貸借対照表

2024年 3月31日現在

(単位 千円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	46,735,075	47,276,754	△ 541,679
有形固定資産	26,992,448	27,402,410	△ 409,962
土地	5,531,177	5,531,177	0
建物	18,442,869	18,845,944	△ 403,075
構築物	1,418,344	1,626,072	△ 207,728
教育研究用機器備品	1,330,319	1,116,550	213,769
管理用機器備品	59,895	71,013	△ 11,118
図書	191,913	186,825	5,088
車両	17,931	24,829	△ 6,898
建設仮勘定	0	0	0
特定資産	4,650,000	4,650,000	0
第3号基本金引当特定資産	4,650,000	4,650,000	0
その他の固定資産	15,092,627	15,224,344	△ 131,717
借地権	32,581	32,581	0
電話加入権	3,377	3,377	0
差入保証金	41,295	40,760	535
施設利用権	261	303	△ 42
有価証券	12,015,113	12,147,323	△ 132,210
長期運用預金	3,000,000	3,000,000	0
流動資産	9,762,757	9,344,076	418,681
現金預金	4,185,921	3,905,053	280,868
未収入金	210,859	91,500	119,359
貯蔵品	6,093	5,877	216
有価証券	5,200,000	5,200,000	0
販売用品	20,441	21,932	△ 1,491
前渡金	137,844	118,714	19,130
立替金	1,599	1,000	599
資産の部合計	56,497,832	56,620,830	△ 122,998

(単位 千円)

負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	1,604,752	1,569,101	35,651
退職給与引当金	1,349,371	1,307,037	42,334
長期未払金	255,381	262,064	△ 6,683
流動負債	2,753,479	2,826,831	△ 73,352
未払金	763,682	795,041	△ 31,359
前受金	1,812,499	1,858,433	△ 45,934
預り金	177,298	173,357	3,941
負債の部合計	4,358,231	4,395,932	△ 37,701

(単位 千円)

純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	55,797,921	55,527,369	270,552
第1号基本金	50,592,921	50,322,369	270,552
第3号基本金	4,650,000	4,650,000	0
第4号基本金	555,000	555,000	0
繰越収支差額	△ 3,658,320	△ 3,302,471	△ 355,849
翌年度繰越収支差額	△ 3,658,320	△ 3,302,471	△ 355,849
純資産の部合計	52,139,601	52,224,898	△ 85,297
負債及び純資産の部合計	56,497,832	56,620,830	△ 122,998

2. 2024年度予算について

学校法人の予算書は、決算書と同様に所轄庁へ届け出ることになっております。

学校法人では収入の大半は、年度初めにほぼ見通しが立つという極めて固定的な特性があり、教育研究の要請から来る資金需要が無限にあるなか、教育研究の永続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立つ教育研究計画と、それを裏付ける収支の均衡のとれた財政計画が必要であり、これらの計画を適正にかつ効果的に達成するため、予算制度は重要な仕組みとして位置付けられています。

本学園の事業活動収入は8,593,329千円、前年度比401,544千円増で組んでいます。事業活動収入の74.2%を占める学生生徒等納付金は、2023年度より開校した中学校で定員を上回る新入生が入学した結果、学生生徒数が前年度より増加し6,375,134千円(学生生徒数約6,400名)前年度比141,965千円増を見込み、学生生徒等納付金の次に収入に占める比率の高い補助金が1,219,178千円と中学校増加分を見込み、付随事業収入が121,801千円とコンビニ、総合寮、スクールバス利用料等の収入を見込み、雑収入が190,684千円と退職金財団交付金収入を見込むほか、教育活動外収支の受取利息・配当金で400,093千円、特別収支の資産売却差額で78,580千円と収入増を見込んだことが主な要因となっています。

一方、事業活動支出は8,587,957千円、前年度比97,338千円増を計上しています。これは人件費で定期昇給及びベアと中学校教職員数の増加を見込んだことが増加の要因となっています。

基本金組入額は、通常教育研究用機器備品の購入、既存施設の改修等もありますが、大学のトイレ改修工事や学籍システムサーバ更新、高校・中学校のグランド排水工事を計画していることから、316,836千円を計上しています。

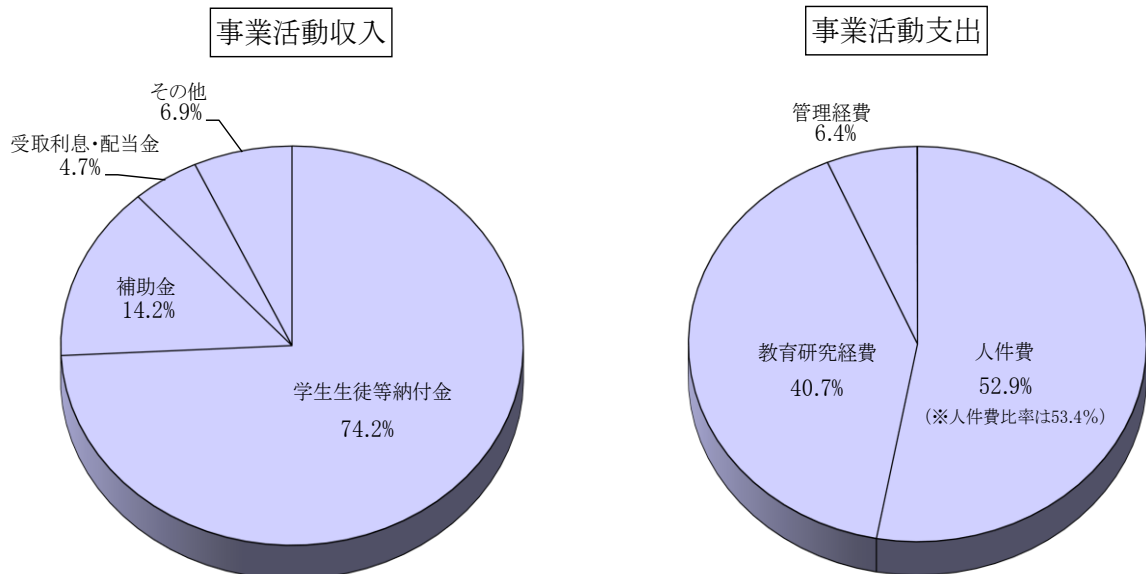
これらの結果、当年度収支差額は311,464千円の支出超過となりますが、これは多額の基本金を組み入れたものであり、経営状況が特に悪化することはありません。

しかしながら、2024年度予算の執行にあたっては、効率的な運用に努め、経費等の節減に一層努める所存です。

2024年度事業活動収支予算書

		科 目	2024年度予算	2023年度予算	増減
教育活動収入	事業活動の収入の部	学生生徒等納付金	6,375,134	6,233,169	141,965
		手数料	110,439	143,994	△ 33,555
		寄附金	81,620	26,020	55,600
		経常費等補助金	1,219,178	1,155,555	63,623
		付随事業収入	121,801	108,966	12,835
		雑収入	190,684	97,286	93,398
		教育活動収入計	8,098,856	7,764,990	333,866
	事業活動の支出の部	人件費	4,540,512	4,208,126	332,386
		教育研究経費	3,494,873	3,705,035	△ 210,162
		管理経費	549,776	577,304	△ 27,528
徴収不能額等		0	0	0	
	教育活動支出計	8,585,161	8,490,465	94,696	
	教育活動収支差額	△ 486,305	△ 725,475	239,170	
教育活動外収入	事業活動の収入の部	受取利息・配当金	400,093	327,695	72,398
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	400,093	327,695	72,398
	事業活動の支出の部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	400,093	327,695	72,398	
		経常収支差額	△ 86,212	△ 397,780	311,568
特別収入	事業活動の収入の部	資産売却差額	78,580	0	78,580
		その他の特別収入	15,800	99,100	△ 83,300
		〔現物寄付〕	15,800	12,800	3,000
		〔施設設備補助金〕	0	86,300	△ 86,300
		特別収入計	94,380	99,100	△ 4,720
	事業活動の支出の部	資産処分差額	2,796	154	2,642
その他の特別支出		0	0	0	
特別支出計		2,796	154	2,642	
	特別収支差額	91,584	98,946	△ 7,362	
		基本金組入前当年度収支差額	5,372	△ 298,834	304,206
		基本金組入額合計	△ 316,836	△ 620,042	303,206
		当年度収支差額	△ 311,464	△ 918,876	607,412
		前年度繰越収支差額	△ 3,658,320	△ 3,302,471	△ 355,849
		翌年度繰越収支差額	△ 3,969,784	△ 4,221,347	251,563
		(参考)			
		事業活動収入計	8,593,329	8,191,785	401,544
		事業活動支出計	8,587,957	8,490,619	97,338

構成比率 (2024予算)



2024年度資金収支予算書

(金額単位：千円)

	科 目	2024年度予算	2023年度予算	増 減
資 金 収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	6,375,134	6,233,169	141,965
	手数料収入	110,439	143,994	△ 33,555
	寄付金収入	81,620	26,020	55,600
	補助金収入	1,219,178	1,241,855	△ 22,677
	資産売却収入	2,400,000	1,800,000	600,000
	付随事業・収益事業収入	121,801	108,966	12,835
	受取利息・配当金収入	400,093	327,695	72,398
	雑収入	190,684	97,286	93,398
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	1,903,348	2,227,163	△ 323,815
	その他の収入	305,319	194,200	111,119
	資金収入調整勘定 前年度繰越支払資金	△ 1,965,111 4,185,921	△ 2,012,476 3,905,053	47,365 280,868
	合 計	15,328,426	14,292,925	1,035,501
資 金 支 出 の 部	人件費支出	4,508,433	4,198,773	309,660
	教育研究経費支出	2,222,031	2,467,908	△ 245,877
	管理経費支出	473,033	498,346	△ 25,313
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	313,518	382,349	△ 68,831
	設備関係支出	287,538	917,837	△ 630,299
	資産運用支出	2,400,000	1,800,000	600,000
	その他の支出	907,062	945,240	△ 38,178
	資金支出調整勘定 翌年度繰越支払資金	△ 768,516 4,985,327	△ 834,506 3,916,978	65,990 1,068,349
	合 計	15,328,426	14,292,925	1,035,501

以上、2023年度決算及び2024年度予算につきまして、その概要を説明させていただきました。

学園の財政は目下のところ安定しているとはいえ、18才人口の減少等学園を取り巻く環境には厳しいものがあります。本学園としては、5学部9学科、5研究科の社会科学系の中規模大学として厚みのある教育研究体制の確立を意図し、高校では、教育内容の見直し、教育環境の充実をはかり、さらに、2023年度より開校した中学校とともに、中高一貫教育によって学生生徒6,400名が学ぶ学園として教育研究の充実、向上に一層努める所存であります。

ご父母の方々には、本学園の教育研究に深いご理解をいただき、また「教育振興資金」のご寄付等で多大なご協力をいただいておりますが、今後共、宜しくご理解ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

※計算書類等の詳細について閲覧を希望される方は、経理課窓口までお申し出ください。

< 計算書に表示される科目について >

学校法人会計基準に基づき作成する各計算書に表示される主な科目について説明いたします。

○資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通する科目

[学生生徒等納付金]入学料、授業料、施設設備費、実験実習料、課外活動振興費等の学費として納入されたものです。

[補助金]教育研究に関する経費や施設設備の拡充等の助成のために、国や地方公共団体等から交付される補助金です。

[付随事業・収益事業収入]コンビニや出版会の売上、受託事業収入等です。

[受取利息・配当金収入]預貯金や有価証券の利息・配当金収入等です。

[人件費]専任及び非常勤の教職員等に支給する本俸・期末手当・その他手当・所定福利費等です。

[教育研究経費]教育研究のための印刷費や図書費、委託費、消耗品費、光熱水費、旅費交通費等の経費です。

[管理経費]学校の管理業務や学生募集に係る経費等で、教育研究以外の経費です。

○資金収支計算書のみに表示される科目

[資産売却収入]有価証券、不動産等の固定資産の売却収入です。

[前受金収入]入学予定者や在学生の翌年度分の学生生徒等納付金が当年度に納入された収入です。

[その他の収入]前期末未収入金や前渡金、立替金の回収収入、その他預り金等の収入です。

[施設関係支出]土地、建物、構築物、建設仮勘定等の支出です。

[設備関係支出]教育研究用機器備品・管理用機器備品、図書、車両等の支出です。

[資産運用支出]有価証券の購入、引当特定資産への繰入等の支出です。

[その他の支出]前期末未払金や前渡金、立替金の支払支出、その他預り金等の支出です。

[資金調整勘定]資金収入調整勘定では、当年度の資金収入科目として計上したが資金受入が当年度でない前期末前受金と期末未収入金を減算し、一方資金支出調整勘定では、当年度の資金支出科目として計上したが資金支出が当年度でない期末未払金と、前期末前渡金を減算しています。これらの科目は支払資金の実際の収支と当年度の諸活動に対応する収支とを一致させるために用いられます。

○事業活動収支計算書にのみ表示される科目

[教育活動収支]経常的収支のうち、教育研究活動にかかる収入・支出を計上します。

[教育活動外収支]経常的収支のうち、教育研究活動以外の財務活動等にかかる収入・支出を計上します。

[特別収支]一時的に発生する資産売却差額、現物寄付、施設設備補助金、資産処分差額等の臨時的にかかる収入・支出を計上します。

[資産売却差額]有価証券や不動産を売却し、その売却収入が帳簿価額を超える場合にその差額を計上します。

[資産処分差額]有価証券や不動産を売却し、その売却収入が帳簿価額よりも少ない場合にその差額を計上します。

[事業活動収入]学校法人の主な収入(学生生徒等納付金、補助金、寄付金等)で、負債となる前受金、預り金等は含みません。

[事業活動支出] 事業活動支出は、人件費、教育研究経費、管理経費等の当該年度に発生した費用です。資金支出の他、退職給与引当金繰入額や減価償却額を計上します。

[基本金組入額]学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を持ち、永続的に維持することが必要不可欠であり、これを学校法人会計では基本金といいます。基本金は企業会計の資本金と混同されがちですが、学校法人には出資持分という概念はありません。当年度これらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組み入れる仕組になっています。基本金の対象は学校法人会計基準において、次の4つに分類されています。

第1号基本金: 設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置もしくは学校の規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産を対象として組み入れた額。

第2号基本金: 第1号の資産を、将来取得するために充てた金銭その他の額として組み入れた額。

第3号基本金: 基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額として組み入れた額。

第4号基本金: 恒常的に保持すべき資金として規定され、一定の計算式で算出して組み入れた額。